

腸瘻造設に最適な 高流量カテーテル

Kangaroo™ ジェジュノストミイ カテーテル



ENFit®

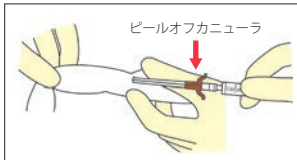
CardinalHealth™
Kangaroo 

ジェジュノストミイ カテーテルの特長

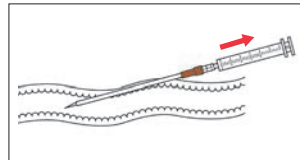
- 医療用ポリウレタン製カテーテルの採用で、柔軟で弾力性があり、流量も確保できます。
- 先端開口で側孔の無いカテーテルは、フラッシュの効果を高め、経腸栄養剤のカード化現象によるカテーテル閉塞が起きにくい形状になっています。
- ピールオフカニューラ付穿刺針(2本)は、操作手順をスムーズに清潔なカテーテル留置を可能にしました。
- ISO80369-3に準拠したコネクタ形状です。

使用方法

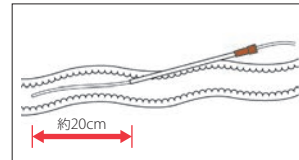
※ご使用の際は、必ず製品に付属の添付文書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。



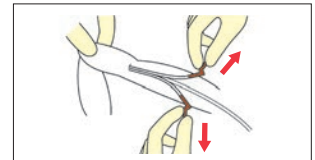
1. 開腹し、空腸を引き伸ばして空腸への穿刺部位を決めます。空腸をしっかり把持しながらピールオフカニューラ(以下カニューラ)を腸の内腔内に穿刺します。



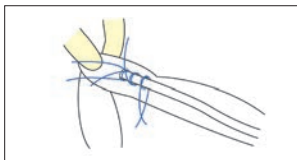
2. 針先が空腸内にあることを滅菌水を注入して確認します。その後、内針のみを抜き、カニューラを空腸内に残します。



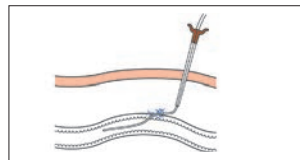
3. 空腸内に留置されたカニューラにカテーテルを通し、カテーテル先端を空腸内に約20cm挿入します。



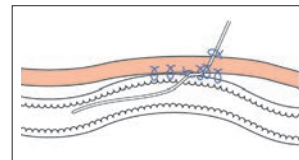
4. カニューラの把持部を左右に引き裂きながら抜去します。



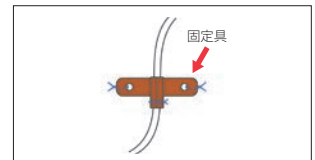
5. カテーテル挿入部位をしっかりと縫合し、さらにカテーテルを空腸に沿わせるように、2~3箇所を縫合します。



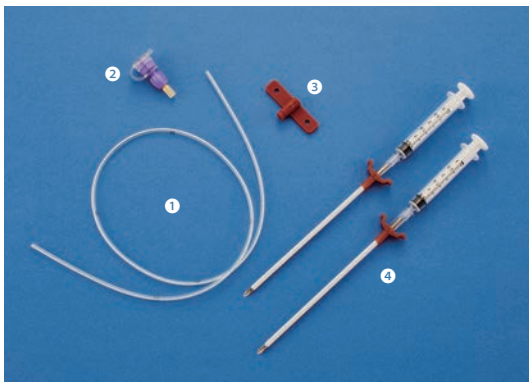
6. 皮膚表面の穿刺部位を決め、穿刺部位にカニューラを穿刺し、内針のみを抜去します。腹壁に留置されたカニューラに腹壁内側からカテーテル挿入し、カテーテルを腹壁外側に引き出します。その後カニューラを引き裂きながら抜去します。



7. カテーテルが挿入された腹壁内側と空腸とを縫合します。カテーテルが見えないように3~4箇所縫合します。体表のカテーテル挿入部位を縫合し、カテーテルが長い場合は適当な長さにカットしてください。



8. カテーテルを体外固定具に通し、体外固定具に糸をかけて固定してください。カテーテルにアダプター固定用のキャップを通し、カテーテルを誤接続防止アダプターのコネクタに確実に接続して、固定用キャップを回しながらネジを締めて接続します。



キット内容

- 1 カテーテル (9Fr/70cm)
- 2 カテーテルアダプター (キャップ付)
- 3 固定翼 (カテーテル固定具)
- 4 ピールオフカニューラ (3mL シリンジ付)

カタログ番号	カテーテル		先端からの デプスマーク位置	包装単位
	外径(mm)	有効長(cm)		
3393E-9	3.0(9Fr)	70	10cm	5キット/箱

包装: 1キット毎滅菌済み プリスターバック入り

再使用禁止

一般的名称 : 空腸瘻栄養用カテーテル
販売名 : ジェジュノストミイ カテーテル
医療機器認証番号 : 224AABZX00180000
特定保険医療材料名 : 栄養カテーテル 腸瘻用
クラス分類 : II 管理医療機器

Cardinal Healthは、Global Enteral Device Supplier Association (GEDSA) の会員です。GEDSAは、患者の安全性を高めることを目的とした医療機器用チューブコネクタの国際規格の導入を支援するために設立されました。ENFit™はGEDSAの商標です。



お問い合わせ先
カーディナルヘルス株式会社
Tel : 0120-917-205

cardinalhealth.jp